

# 果実への**袋かけ**をお願いします！

★注意）セグロウリミバエは案外、産卵管が長い！



普段は格納

1cm近く伸びる

メス成虫の産卵管

2mmの網で  
覆っても・・・

←網



網が果実に  
近いと、  
突き抜けて  
産卵されて  
しまう！

2mm網は栽培ハウス用！

★虫が侵入しないように果実全体を袋で覆いましょう

## ○果実専用袋(紙製)



パッションフルーツ畑の例

- 果実が見えないため虫に見つかりにくい。
- 風雨には比較的強い。
- 果実全体を覆いやすい
- 大きな果実には対応できない。

## ○新聞紙など

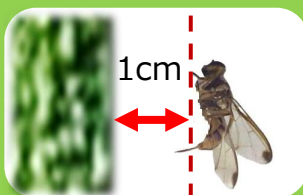


- 入手しやすい。
- 果実が見えないため虫に見つかりにくい。
- 大きな果実にも対応できる。
- 日当たりに難。
- 風雨で破れやすい。

## △網 (ネット) 袋



- 網を果実から1cmほど離すよう工夫するとよい。
- 果実にピッタリとくっついていたら産卵されやすい。



## △ビニール袋など



- 産卵されにくい
- 通気性が悪く果実が蒸れやすい。
- 穴あき袋は効果が薄い。

△出荷ネット(1mm前後)

- ・産卵されないよう2枚重ね等に対応

×ミカンネット

- ・ピッタリしすぎる
- ・網目が荒い



▶沖縄県病害虫防除技術センター

TEL:098-886-3880

セグロウリミバエについて

詳しくはこちら！ >>>



# 家庭菜園でのウリ科作物の栽培自粛を あらためてお願いいたします

## ■ 栽培自粛をお願いしたいウリ科作物の例



かぼちゃ



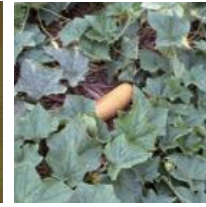
へちま



にがうり



とうがん



赤毛瓜(モーウィ)



きゅうり



ズッキーニ



すいか



ゆがお



メロン



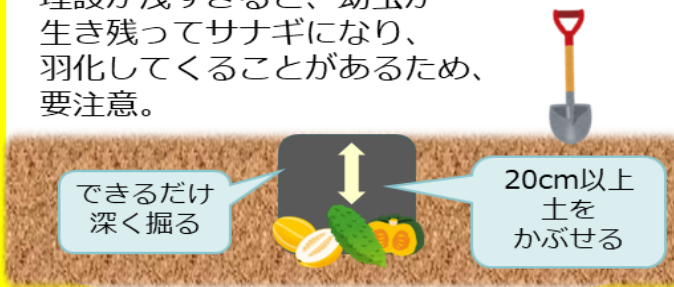
まくわうり

その他  
ウリ全般

どうしても栽培したい場合は… セグロウリミバエの発生源とならないよう  
不要果実を適切に処分してください。

### ①埋設処理

- 寄生が疑われる果実や残渣等を、農家圃場や家庭菜園の隅に穴を掘って埋設処分する。その際、できるだけ深い穴を掘り、20cm以上の厚さの土をかぶせる。
- 埋設が浅すぎると、幼虫が生き残ってサナギになり、羽化してくることがあるため、要注意。



### ②密閉・陽熱処理

- 寄生が疑われる果実や残渣等を穴などない丈夫なビニール袋に入れて密閉し、虫が死滅するまで太陽熱で蒸し込む。  
(夏場の青天なら1週間、冬場は1か月程度が目安)
- 処理後は地域のルールに従って処分する。  
(お住いの自治体に別途ご相談ください。)



### ③茎葉の早期片付け

- ウリ科野菜は収穫後も枯れずに果実や雌花を付け続けるため、収穫後はトラクターで早めに茎葉をすき込み片づける。
- 不要な果実が圃場に残っていると、すき込み後に発芽・生育してくる場合があるので不要果実は①②の方法で事前に処理しておく。



### ④冷凍処理

- 家庭菜園等で量が少なければ、冷凍処理という方法もある。
- ビニール袋などに密閉して冷凍庫で2～3日間凍らせ虫が死滅してから家庭ゴミとして処分する。

